

老人福祉センター横浜市晴嵐かなざわ指定管理者第3回選定委員会議事録	
議 事	老人福祉センター横浜市晴嵐かなざわの指定管理者の選定について
日 時	平成17年9月26日(月)午後1時30分から4時00分まで
場 所	金沢公会堂3号会議室
出 席 者	康委員、毛塚委員、齊藤委員、松野委員、鈴木委員
決定事項	老人福祉センター横浜市晴嵐かなざわ指定管理者の第1候補者として社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会を、選定する。
議 事	<p>1 ヒアリング(応募団体は社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会のみ)</p> <p>はじめに、横浜市社会福祉協議会は極めて公共性が強い団体ではあるが、地域の人やボランティアの方がたが活動に参加されている民間性ももっており両面を活かして地域福祉に努めている旨の説明があった。</p> <p>続いて提出されている事業計画書に沿って提案説明を行った。</p> <p>説明後、選定委員より質疑を行った。</p> <p><主な質疑></p> <p>(問) 事業計画書の内容が、金沢区・横浜市の方針に沿って触れてあり、ねらいが的確である。大広間で行う「生活座談会」に健康(白内障の予防等)や防犯のことについての講演会を取り入れたらどうか。</p> <p>(答) 2か月に1度、座談会のときに嘱託医や警察署等の協力を得て行っている。</p> <p>(問) 娯楽コーナーでの囲碁・将棋の利用者の状況はどうか。</p> <p>(答) 囲碁は20セットあるが昼以降は利用者でいっぱいの状況である。</p> <p>(問) 区の老人クラブとの連携はどうか。</p> <p>(答) 自主事業等にノウハウの提供を受けている。</p> <p>(問) センターに来ないで家に引きこもっている人の需要はどうつかむのか。</p> <p>(答) 区と相談しながら取り組んでいく。</p> <p>(問) 他の団体等との連携はどうか。</p> <p>(答) 同じ建物内の4団体については、毎月連絡会をもち情報の共有化に努めている。介護関係では地域ケアプラザ等との連携を図って</p>

	<p>いく。</p> <p>(問) 基本事業とはどのような事業か。</p> <p>(答) 趣味の教室や各種相談事業などである。</p> <p>(問) 自主事業などを参加した人からアンケートをとっているか。</p> <p>(答) アンケートをとり運営へ反映させている。</p> <p>(問) 利用者懇談会は行っているのか。</p> <p>(答) 行っていないが、「晴嵐かなざわ地域懇談会」を開催し、地域や関係者の意見、ニーズを運営に反映させている。利用者懇談会は検討課題と認識している。</p> <p>(問) 経費の節減の動機付けは。</p> <p>(答) 行いたい事業の経費に回せるので。</p> <p>2 評点</p> <p>ヒアリング終了後、各委員により評点を付け集計した。集計の結果合計点が1, 110点(満点1, 375 約80%)となった。</p> <p>3 選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会は、施設の理念・役割を認識した運営方針・事業計画を策定している。 ・地域の高齢者のニーズに関する情報をよく集めて(アンケート等の実施、スタッフ会議の活用、地域懇談会の開催等)事業計画を策定している。 ・今後の課題としては、同センターを利用していない人への働きかけがあげられる。 ・評点結果は全委員の合計点の平均が80%に達している。今回当該施設への応募は、現在同施設の運営管理を行っている同協議会のみであり同協議会を第1位候補者に選定する。
<p>資 料 特記事項</p>	